

(別紙1)

## 自己評価及び外部評価 結果

作成日 平成 24 年 6月 15日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2774900530		
法人名	有限会社 イツキケアサービス		
事業所名	ぐるーぷはうす なごみ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府 富田林市 東板持町 3-15-5		
自己評価作成日	平成24年5月14日	評価結果市町村受理日	平成24年7月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「その人らしさを大切に」を理念に、普通の家での暮らしに近づけるよう、ゆったりとした生活を心がけています。 自発的・主体性を持って送れるよう見守り、支えあえながらお世話させていただきます。

### 【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp">http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 評価機関あんしん
所在地	大阪府岸和田市三田町1797
訪問調査日	平成24年6月6日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「ぐるーぷはうす なごみ」は富田林市郊外の閑静な住宅街の中にあり、木造2階建て和風の民家を改造した事業所である。「その人らしさを大切に、自発的、主体性をもち支えあう」を理念として、管理者と職員は理念を共有し、その実践に努めている。町会に加入し、回覧板を回す等地域の人たちと顔馴染みになり、散歩の途中で挨拶を交わしたり、季節の花を頂く等地域の一員として積極的に交流を図っている。また公園の草引きや「ふれあい喫茶」、盆踊り、だんじり祭り、PLの花火鑑賞等地域の行事等にも利用者が参加できるように支援している。月刊「なごみだより」を発行し、お知らせや行事予定、事業所での暮らしぶり等を写真に撮り家族に報告している。天気の良い日は、利用者が事業所周辺の住宅街を散歩する、庭に出て外気浴をする等日常的に戸外に出て気分転換ができるよう支援している。また百貨店に出かけて買い物や食事をしたり、お寺まいり等、利用者の思いに添った個別の支援にも対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を玄関に掲げ、利用者様1人1人の目的に沿って安心して暮らしていただける環境作りをしています。	「その人らしさを大切に、自発的、主体性を持ち支え合う」という事業所が独自に作成した解りやすい理念を玄関に掲示している。毎月の定例会議において職員に周知を図り、さらに朝の引継ぎ時にも理念を確認して、その実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公園の草引きやふれあい喫茶への参加や回覧板を利用者様と回したりして地域の一員として交流しています。	町会に加入し、地域の公園の草引きや清掃活動に積極的に参加している。また、週1回のふれあい喫茶に参加したり、回覧板を職員と一緒に回す等地域の一員として日常的に交流し、地域の人々と顔馴染みになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事の公園清掃にも利用者様と参加し地域の方にも支援方法等を理解して貰う様に努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催をしている。	利用者・家族代表者、地域代表、地域包括支援センター職員、医師会訪問看護師、管理者、職員等が参加して、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。会議録も作成している。会議では事業所の活動や利用者の状況等の報告や参加者からの意見や情報交換も行われ、サービス向上に活かしている。また、災害時の地域との協力体制について話し合っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者様の諸申請や書類の提出。また、疑問点の相談等にも行っています。	市担当者とは相談や書類の提出等で日頃から連絡を取っている。また、介護支援専門員は2ヶ月に1回開催される富田林グループホーム交流会に参加し、市担当者と意見や情報の交換を行っている。介護相談員も受け入れている。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>施設外研修で学び、虐待のない介護を学んでいる。また、なごみにおいて虐待は全てにおいて行っていません。</p>	<p>毎年「身体拘束にあたる具体的な行為」について研修を行い職員の理解を深めている。毎月の定例会議においても意識づけを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夜間を除き、日中居室や玄関の施錠はしていない。</p>	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設外研修で学び、虐待のない介護を学んでいる。また、なごみにおいて虐待は全てにおいて行っていません。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設外研修で権利擁護に関する制度を学び、実践に活用できる様にしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用の際、専門用語は使わずゆっくりと話をし、理解・納得を得れる様にしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>広報なごみだよりで問い掛けたり御家族が来所された際にも聞き取りをしています。</p>	<p>毎月発行している広報「なごみだより」の紙面で「要望・意見などございませんか」と呼びかけたり、運営推進会議に参加の家族や面会など家族の訪問時に積極的に声かけを行い、意見・要望等を聞く機会を設けている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>常に直接話を聴いたり、また月1回の会議では全スタッフの意見を聞き反映させています。</p>	<p>管理者は月1回の定例会議で全職員と話し合いの場をもち意見や提案を聞く機会を設けるなど普段から話しやすい雰囲気づくりに努めている。出された意見などは検討し、サービスに反映させている。また、代表者は年1回個人面談を行っている。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は年に1回全スタッフとの個別面談を行い聞き取りをしストレス等の軽減を図っています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年、各自最低1回は施設外研修に参加し、また毎月1回を目標に施設内研修を行いスキルアップを図っています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市の施設会に加入や介護相談員の受け入れをし、また管理者は月に1度をめどに同業者と交流をしています。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し聞き取りながら信頼関係の構築に努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>御本人や御家族も含め、話を傾聴し信頼関係の構築に努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>インテークやアセスメントを充分に行いニーズを理解する様に努めています。</p>		

18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御本人の出来る事を職員と共に行い共同生活を実感して貰うよう努めています。		
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活状況を報告する等、連絡を密にし、来所時には御本人と一諸に食事して貰う等誠心誠意を持って対応しています。		
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スタッフと一緒に行きつけの散髪へ行くなどして関係が途切れないよう努めています。	家族と馴染みの美容院へ出掛けたり、理髪店へ職員と一緒にいき、その帰りに寿司屋に寄ったりしている。年賀状を出したり、もらった手紙等への返事を書くこと等も支援している。馴染みの人や場所との関係が少ない利用者には、地域の行事等に参加することで、新たに生まれた関係を継続できるよう支援に努めている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少人数なので利用者同士の関わりが少ないですが、スタッフがお手いして利用者が共同で作業が出来るように努めています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、自宅へ訪問してお話しを聞き相談させて貰っています。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9 ○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを通じて信頼関係の構築を図り、思い・希望等の聞き取りに努めています。	家族からの情報、アセスメント、日頃のコミュニケーションの中からその人の思いや希望の把握に努め、ケアに活かしている。把握した事柄は引継ぎや介護記録などにより職員間で情報を共有している。	
----	--	---	---	--

24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>御本人、御家族、関係者との信頼関係を築き情報収集の把握に努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>【御様子】 【出来る】 【出来ない事】 【特変】等、関心を持ちお一人様毎のケア記録へ詳細に記入しスタッフ間の情報の共有を図っています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族が来所された時や電話連絡の際、スタッフと話し合い、その人に合ったケアプラン作成をしています。</p>	<p>家族・利用者の希望や意向を聴取し、家族や職員、管理者、介護支援専門員、主治医、看護師等関係者が参加してサービス担当者会議を開き、個別的な介護計画を作成している。2ヶ月に1回のモニタリングと6ヶ月に1回の定期的な見直しを行っている。状態に変化がみられた時には随時のアセスメントと計画の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者毎に細かく記録し情報の共有を心掛けケアプランの見直しにも活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>年間行事以外でも外出する等利用者様の生活にメリハリをつけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の人達との交流の場ふれあい喫茶や町内会行事の参加。また回覧板を回して頂くなど地域資源を活用しています。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>毎週月曜日、歯科医、水曜日ドクター。 毎週金曜日、訪問看護師の往診。必要な 時は他医療機関への紹介状も出して貰っ ている。</p>	<p>事業所の内科協力医が全ての利用者の かかりつけ医となっているが、希望が あれば以前からのかかりつけ医の受診 も可能である。必要時には、かかりつ け医の紹介で専門医を受診出来るよう に支援している。原則として家族同行 の受診であるが、不都合な時は職員が 代行している。内科医と歯科医の週1 回の訪問診療、訪問看護師も週1回訪 問している。訪問診療時の結果は、職 員が口頭で家族に報告すると共に個人 の経過記録に記入して職員間で情報の 共有を図っている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるよう支援し ている</p>	<p>毎週金曜日の訪問看護師に利用者毎に記 録して貰い、バイタルは曜日に関係なく 随時確認してもらってます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>御家族様・ドクターとの話し合いに同席 し情報の共有交換をし、時間を作り、必 要時に出向いています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所作成の看取り指針に基づき重度化 前に話し合いの場を設けています。 また、スタッフとはマニュアルを作成し チームケアに取り組んでいます。</p>	<p>重度化した場合や終末期の対応につい て、「ぐるーぶはうす なごみ看取り 指針」を基に家族と話し合い、事業所 で出来ることを説明し理解を得てい る。利用者の状態変化に応じて主治 医、家族、職員等と話し合いを行い、 その内容を経過記録に記入し、ケアプ ランも見直している。また、看取りの マニュアルに沿ってチームケアに取り 組んでいる。今までに数件の看取りを 行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>訪問看護師主催の勉強会を実施。 また緊急連絡先も目の付く場所に掲示し ている。今後は定期的に勉強会を催して 行きたい。</p>		

35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難通路の確保・避難誘導介助・連絡・初期消火など年2回の昼夜訓練を行っている。	防災マニュアルを作成し、年2回（昼夜想定）定期的に避難訓練を実施している。火災報知機、消火器等も設置しており、災害に備えて米、缶詰めなどの備蓄もしている。運営推進会議を通じて、連絡網の作成は出来ているが、今後も引き続き地域との協力が得られるよう話し合っていく予定である。	
----	----	--	---	---	--

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	”御本人が出来ることは自分でしてもらい、出来ない事をスタッフが介助する”の考えを実践します。	利用者一人ひとりのプライドや誇りを損ねるような言葉かけや対応をしていないかを常に心がけている。ミーティング時にも年1回は議題として取り上げて注意を喚起している。新人研修でもプライバシーの確保について研修を行っている。個人記録等は第三者の目に触れないよう簡易ロック式書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	信頼関係を構築し、話しやすい環境を作って、自己決定して頂ける雰囲気を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆったりとしたペースで御本人と関わり、”その人らしさを大切に”を大事にして行きたいです。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	翌日着る服を選んで貰ったり、髭剃りや身だしなみを重視するよう努めています。		

40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・片付け等出来る事をスタッフと一諸にしています。	季節感に配慮して管理者が食材を購入している。献立作りと調理は職員が交代で行っている。利用者は職員と一緒に食事をし、出来る範囲で下膳や食器洗い、調理等を行っている。時には、ファミリーレストランでバイキングや仕出し屋の弁当を取ったり、庭で菓子やおにぎりを食べる等、食事を楽しくするように工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	偏った食事やメニューにならないように努め、嚥下困難な方にはトロミやミキサー食で対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや週2回に薬剤で清潔保持をし、毎週月曜日には歯科医にて口腔ケアもしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	決まった時間だけでなく、御本人の排泄パターンにのって誘導するよう努めています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄支援に努めている。2階の利用者は、夜間のみ居室でポータブルトイレを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向にある方には、食事内容を考慮し、水分補給を勧め、軽運動も行える様支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には入浴日を決めているが、入浴順番は決めていない。その日の体調に応じて入浴して頂いている。	入浴は週3回、入浴時間は10時半から4時位と決めているが、入浴時間外でも希望すれば入浴できるよう支援している。また、入浴を拒む人には、足浴やシャワー浴、清拭等を工夫しながら支援している。入浴介助は女性職員が行っている。	

46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その時間に応じて、活気・表情等を見極め休んで頂く様にしています。</p>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬表を整理し、スタッフ全員がいつでも確認出来る様にしています。薬剤師を招いた勉強会を開催しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>単調な日々にならぬ様に生活リハビリを中心に行うよう努めています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は、散歩や外気浴をして頂き、レストランへ行ったり馴染みの理容店にも行ける様にしています。</p>	<p>日常的には事業所周辺の住宅街や公園の散歩、庭に出て外気浴等戸外へ出て気分転換を図っている。スーパーマーケットや百貨店で買い物をして帰りに外食する等、その日の希望に沿った外出支援ができています。また月に1～2回、図書館、お寺参り等の個別支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物や、理容店に行った際御本人にお金を渡して支払いをして頂き、お釣りも直接貰える様に努めています。</p>		

51		<p>○電話や手紙の支援          家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>スタッフから御家族への報告の際、御本人と電話して頂けるよう努力しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり          共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関に季節の花やリビングには、雛人形を置き季節感を取り入れ、また清掃や消毒も踏まえ清潔保持にも努めています。</p>	<p>2階建て和風の民家を改造した落ち着いた家庭的な雰囲気の仕事所である。下駄箱の上には季節の花が活けてある。リビングには座り心地のよさそうなソファと小テーブルを置き、利用者一人ひとりがゆったりと座ってテレビを見たり寛いでいる。壁には絵画、時計、カレンダー等を飾り、金魚の水槽やマガジンラックなどが置いてある。リビング、食堂、台所は廊下を挟んで自由に行き来でき、清掃も行き届き清潔感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり          共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>決まった場所では無く、いつでもどこでも自由にして頂ける様な雰囲気作りに努めています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮          居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は常に清潔と整理整頓を心掛け、御本人が使用していたなじみの物を置くようにしています。</p>	<p>居室のベッドは事業所が設置しているが、整理ダンス、鏡台、テレビ、時計など使い慣れた馴染みのものを利用者が持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫している。居室はすっきりと整頓し、清潔さが感じられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり          建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>場所の表示をし、出来る限り分かる様にしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない